

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

ICT事業を始め、弱電設備事業やセキュリティシステム事業に加え、会社インフラ防災事業の設計、開発、販売、施工、保守を通じて社会的課題の解決に取り組み、環境・社会・経済の3側面を重視した経営推進とともに、SDGs達成に向けた社会に貢献する企業を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	事業所におけるエネルギー削減活動の推進	事業所電気使用料(年間) 2023年に対して、2026年10%削減
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	働き方改革によるワークライフバランス推進、研修及び福利厚生の見直しの実施	社員満足度(アンケート実施) 2023年に対して、2026年10%向上
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	人材育成のための研修の受講並びに各種資格取得の実現に向けて積極的に取り組む。	・研修受講の人数 2023年度2名 → 2026年度4名 ・各種資格の新規取得者の増加数 2023年度1名 → 2026年度2名

<パートナーシップ>

久留米工業大学との産学連携による研究・技術を通してのAIを活用した開発。

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☒ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	事業所におけるエネルギー削減活動の推進 事業所電気使用料(年間)2020年に対して2023年 10%削減を目標としたが、6%削減の実績であった。空調機器の温度設定を見直すことを今後の課題とする。	事業所電気使用料(年間) 2020年に対して 2023年 10%削減	6%削減
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	働き方改革によるワークライフバランス推進、研修及び福利厚生の見直しの実施 社員満足度(アンケート実施)10%向上を目標としたが、結果は5%向上であった。ワークライフバランスの充実に向けて、有給奨励日を設定し休暇の取得に取り組んでいる。	社員満足度(アンケート実施) 10%向上	5%向上
☒ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	AIを活用した社会インフラ開発への取組み	新製品の開発・販売を 令和5年までに実施	令和4年7月より販売

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。